

JAPARCHI 日仏シンポジウム・2008 京都

「仕掛けと概念：空間と時間の日仏比較建築論」

2008年12月12日（金）と12月13日（土）の二日間、京都工芸繊維大学においてJAPARCHI 日仏シンポジウム・2008 京都「仕掛けと概念：空間と時間の日仏比較建築論」が行われます。

日本の建築文化を巡る日本とフランスの研究者のネットワークである JAPARCHI（ジャパルシ）が主催するもので、日仏両国の研究者 16 名が一堂に会して、日本とフランスの建築文化に見られる様々な建築的な仕掛けや現象と、その背後にある空間と時間に関わる基本的な概念について議論しようというものです。建築、都市、あるいは景観にかかわる様々な個々の事物を扱うだけではなく、そうした事物の建築的な現象の根本にあり、これら事物に形を与えている両文化のものの考え方にも眼を向けようと言うシンポジウムです。

講演者は、フィリップ・ボナン（フランス国立科学研究センター）、マルク・ブルディエ（パリ・ラ・ヴィレット国立高等建築学校）、ニコラ・フィエヴェ（フランス国立高等研究院）、アンヌ・ゴソ（ボルドー第三大学）、ミュリル・ラディック（サン＝テチェンヌ国立高等建築学校）、ブノワ・ジャケ（フランス極東学院）、コリーヌ・ティリー（フランス文化省研究技官）、阿部順子（椋山女学園大学）、加藤邦男（京都大学名誉教授）、千代章一郎（広島大学）、田路貴浩（京都大学）、土居義岳（九州大学）、中島智章（工学院大学）、西田雅嗣（京都工芸繊維大学）、松本 裕（大阪産業大学）、三宅理一（パリ国立工芸院）の面々です。

●日時

2008年12月12日（金）・12月13日（土）

●時間

12月12日（金）：9.00am-6.30pm

12月13日（土）：9.30am-7.00pm

●会場

京都工芸繊維大学・工繊会館・1階多目的室

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学西部キャンパス北側

〔最寄駅〕市営地下烏丸線「松ヶ崎」下車、徒歩約8分

「松ヶ崎駅」の「出口1」から右(東)へ約400m、四つ目の信号を右(南)へ約180m

入場・聴講無料（定員60名 事前申込不要 先着順）

逐次通訳あり（講演は日本語とフランス語で行われます）

●主催

フランス文化省日仏交流ネットワークJAPARCHI（ジャパルシ）

詳細は

・ジャパルシHP <http://www.japarchi.archi.fr/>

問い合わせ

・京都工芸繊維大学大学院・造形工学部門 西田研究室 tel:075-724-7628（研究室直通）

本シンポジウムは、京都工芸繊維大学特色 GP プログラム「科学と芸術」、フランス国立科学研究センター／日本学術振興会二国間交流事業 CHORUS、フランス国立極東学院との共催で行われます。また、在日フランス大使館の後援を受け、日仏交流 150 周年記念事業の一つとして行われるものです。また、関西日仏学館、日本建築学会近畿支部、デザイン史フォーラムが後援しています。